

令和3年度

山梨における 教員育成推進事業 成果パンフレット

子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会
—OPPシートによる学習・指導と評価の一体化—

初任者研修等における
山梨大学教育学部教員の派遣

Index

教育学部長挨拶 p.1

子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会 pp.2~3

初任者研修等における山梨大学教育学部教員の派遣 p.4

令和4年4月 山梨大学教育学部



山梨大学 教育学部長
古家 貴雄

日頃より山梨大学教育学部並びに大学院教育学研究科教育実践創成専攻(教職大学院)の教育に対し、格別のご厚情をいただきまして誠にありがとうございます。

本学部は、平成29年3月に山梨県教育委員会と「連携協力に関する覚書」を締結させていただき、山梨県教育委員会及び山梨県総合教育センターとの連携協力のもと、現代の学校や地域における教育課題の解決に意欲的に取り組む、質の高い教員養成と現職教員研修の充実を目指して諸種の活動を継続してきています。

その一環として、令和3年度も、山梨における教員育成推進事業「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会—OPPシートによる学習・指導と評価の一体化—」と「初任者研修等における山梨大学教育学部教員の派遣」の2つの事業を実施し、好評の内に終了しました。前者については、コロナ禍の中、中北教育事務所管内で1回実施され、「すぐに算数の授業でOPPを活用した」、「校内の研修で、還流を行った」等、実践に応用されるケースが多くありました。また後者につ

いては、教育学部の教員19名が全県の初任者研修に参加し、主に授業の指導助言を行い、「本研修によって身近な疑問を解決でき、学びも多かった」、「気づかされた点が様々あり、充実した研究協議になった」などの声が初任の先生方よりありました。

本事業は、山梨県教育委員会、山梨県総合教育センター、及び県内教育事務所の皆様の多大なご尽力によって達成されましたが、山梨大学教育学部は今後も地域に根ざした教員育成を推進していく所存です。皆様のさらなるご指導とご鞭撻をよろしく願いたします。



子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会

— OPPシートによる学習・指導と評価の一体化 —



事業概要

OUTLINE

中北地区

令和3年 8月 3日 /
韮崎市民交流センターNICORI-ニコリ-

富士・東部地区

令和3年 8月10日 / 中止

講師

堀 哲夫
(山梨大学 元理事・副学長)

辻本 昭彦
(法政大学生命科学部生命機能学科 准教授)



多くの先生方が参加

本研修会は、山梨県総合教育センターとの共催事業として、総合教育センターの研修計画に組み込んでいただき、県内すべての学校に周知するとともに、各地区の教育事務所にもご協力いただきました。

今年度もコロナ禍の中、人数を絞っての開催となりましたが、基礎研修会に39名、応用研修会に27名参加していただきました。



内容

CONTENTS

基礎研修会では、堀先生からOPPシートのねらいや、作成に必要な構成要素などについてのご講義がありました。

辻本先生からは双六トークを使って評価について考えるワークショップなどがありました。

応用研修会では、堀先生からOPPAと教育の本質との関わり・本質にどう迫るかや、OPPシートのデザイン等についてご講義がありました。辻本先生からはKJ法でそれぞれの実践を紹介しあい意見交換をするワークショップやご自身の授業での実践の紹介がありました。

また、OPPシートの効果を実感してもらうために、受講者が研修を受ける前と後に、実際にOPPシートへ「授業についての考え方」を記入し、自身の変容・成長について振り返る活動を行いました。

OPPAとは？

OPPAとは、One Page Portfolio Assessmentの略で、「一枚ポートフォリオ評価法」と呼ばれるものです。学習者が一枚のシート(OPPシート)の中に学習の成果を学習履歴として記録し、学習の全体を学習者自身に自己評価させる方法です。シートは、次の部分に分かれています。

- ① 単元開始前と終了後に記入する「本質的な問い」
(教師がこの単元を通して最もつかませたい内容を問いの形で示したもの)
- ② 授業の中で学習者が一番大事だと思ったことや自分が考えた授業のタイトルなどを授業ごとに記入する部分

OPPAの特徴は、次のように子どもの成長と教師の成長とを繋げるところにあります。

- ◆ 学習者にとっては、自分の学習の成果を振り返り、自分の成長をつかむことができるもの
- ◆ 教師にとっては、一人一人の子どもの学びの状況を把握し、毎回の授業を振り返り、授業の改善につなげることができるもの





成果と課題

ACHIEVEMENT & TASK

研修会で各自が記入したOPPシートによると、ほとんどの参加者が、自分の授業に対する考え方が変容していると記述していました。

◆ 研修会での OPP シートより

成長とは「振り返り、自分が学びをアウトプットすること」だという考えが自分の中に加わったと思います。ありがとうございます。(教職経験20年目の先生より)

OPPシートを活用することで子どもたちが成長を感じ取ることが大切だと感じました。そのためには、単元を貫く本質的な問いが必要であり、授業改善や子供の変容を見取るためにOPPシートは大変有効であると感じました。一つのツールとしてさまざまな教科で取り入れていきたいです。(教職経験3年目の先生より)

これまで自分が実践してきたOPPシートは教師のためのものであったと思います。子供たちが何を考えているのかを知る手がかりに留まっています。研修を受け、子供自身が自分のために使用するのが本来のOPPシートだと感じました。(教職経験7年目の先生より)

受講前はわかったようなふりをしていましたが、実際に堀先生のお話を伺って自分の“逃げ”に気がつきました。教師だけがいつまでも“できない、わからない”でいる。改めて自分自身が取っずかしくなりました。今日の研修を受講できてよかったです。(教職経験7年目の先生より)

◆ 山梨県総合教育センターの事後アンケートより

教師自身の資質向上のためにもOPPシートの活用が有効であるという話がとても印象に残りました。早速実践し、自分自身の資質の向上に努めていきたいです。

OPPA の考え方が指導と評価の一体化につながっていることがわかったので、PDCAサイクルにのっとった単元設計を施した授業づくりをしていきたいと思います。

コロナ感染拡大防止に留意しながら、参加者同士の情報交換の時間を設けていただき、具体的な実践方法について学ぶことができ、よかったです。

OPPシートを用いた「主体的に学習に取り組む態度」の評価の方法を知りたいという思いからこの研修の受講を決めました。理論を学ぶ中で、それを評価(評定)と結びつけて活用するのは間違いであることがわかり、大きな学びとなりました。

OPPシートを使って子どもたちに振り返りをさせて評価する際には、成果を目的化してほめるのではなく、プロセスを具体的にほめることで、新たな方法を探し挑戦する傾向が強くなるということなので、意識して取り組んでいきたいです。

すざろくトークのワークによって、教育についての価値観や哲学について、同じグループの先生方と話ができたことや、評価やOPPシートについての疑問についてもざっくばらんに意見を交わせたのが良かったです。

各教科等の授業だけでなく、行事の取り組み等でも活用できそうだと感じました。

他校種の先生方と実践を学ぶ合うアウトプット型の研修方法に意義を感じました。グループワークにおいて多くの学びを得ることができました。

OPPA について理論的に理解を深めるとともに、新学習指導要領における主体性評価について理解が深まりました。

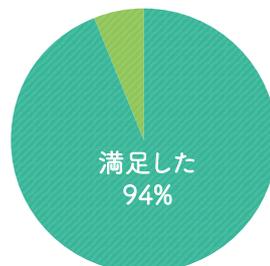
基礎研修会は
役立つ内容で
あったか

満足した……100%
どちらでもない……0%
満足しなかった……0%



応用研修会は
役立つ内容で
あったか

満足した……94%
どちらでもない……6%
満足しなかった……0%



本研修会を通して、評価の本質についてとらえなおし、授業に対する考え方が変容した教員が多くいました。また、研修後に実際に授業等でOPPシートが活用されたことは大きな成果と考えます。

今年度、初めて実施した、基礎研修と応用研修を来年度も継続する予定です。今後、さらに内容を充実させ、OPPAの理解を深めるとともに、OPPシートの活用を広めていくことで、多くの教員の授業力向上に役立てていただけるような研修にしていきたいと思います。



初任者研修等における 山梨大学教育学部教員の派遣



事業概要

OUTLINE

山梨県教育委員会との連携のもと、山梨県教育委員会・市町村教育委員会が拠点校等で行っている初任者研修等へ、本学部の教員を指導・助言者として派遣する事業を、県内4教育事務所・山梨県総合教育センターの全面的な協力を得て次のとおり行いました。

派遣期間・回数

令和3年9月10日(金)～令和4年1月24日(月) 計19回 ※9月に4回、1月に2回の計6回コロナ禍で中止

派遣人数

延べ19人

派遣校種

小学校 11校、中学校 5校、高等学校 3校

内容

「初任者による研究授業」の参観とその後の「授業研究会」での指導・助言

(小学校:国語5/算数5/道徳1 中学校:数学2/理科1/道徳2 高等学校:現代文1/日本史1/物理1)

初任者の声

山梨大学の先生がいっぱいやるということでも緊張していましたが、お会いしてからの的確な助言をいただき、大変勉強になりました。算教科における指導だけでなく、学級経営における視点についてもお話しすることができました。もっとお話ししたいと思うほど、学がことばかりでした。このような機会やお時間をいただきありがとうございます。

私は山梨大学教育学部を今年の3月に卒業したものです。私的な感想になってしまいますが、お世話になった先生に改めてご指導・ご助言いただいたことは非常に励みになりました。まだまだ未熟ですが、これからも教員として頑張りたいと思います。ありがとうございます。

非常に有意義な時間を送ることができたと感じます。ただ、助言をしていただくだけでなく、ディベートのような形式で、指導をしていただき、子供たちにも求めている「主体的・対話的で深い学び」を実践することができました。指導はわかりやすく、丁寧で、この研究をきっかけに大きく成長できるのでは自分自身感じています。本当に実りある、充実した時間を過ごすことができました。



竜王北中学校での研究会

教材に対して、「こういう見方もある」といった検討をしてくださったことが大変参考になり、ありがたかったです。道徳の授業は、教員の教だけやり方があると思います。授業に助言をしていただいたこともですが、教材を囲んで、いろいろな授業方法を検討できたことが大変参考になりました。

派遣教員の声

現場の先生方と関わりが持てることは大変貴重な機会だと感じます。協働的に山梨県の教育を高められるよう今後も専業に携わりたいです。また、この機会を契機に派遣校との関係を築いていきたいと思っています。

今回も大変楽しく参加させていただきました。道徳のような枠が緩い教科では、担任の先生の学級運営が如実に表れることを毎回実感します。各学校の雰囲気もそれぞれに違い、学がことが多いです。またこのような機会がありましたら、ぜひ参加させていただきたく思います。

これから、伸びゆく未来ある初任者の先生方への指導助言に関わらせていただき大変有り難く思います。教職大学院での職務に通ずる面もあり遣り甲斐を感じました。今後も進んで本専業に関わらせていただけたらと思います。

学校での授業を拝見させていただく貴重な機会であると思います。初任者に対する支援という意味合いだけでなく、大学教員として学校現場にどのような貢献ができるのかを考える機会であるとも思いますので、今後も本専業が継続されると良いと思います。

大学教員が学校に出向き、従来とは違う視点からの指導・助言をすることで、研修をより深める一助になったと思います。また、派遣された教員にとっても、学校の様子を知る良い機会であり、今後の教員養成にも資するものと考えます。

今後、大学教員のよりよい関わり方について、アンケート等を参考にしながら、さらに研究を深め、改善しながら事業の充実を図ってまいります。



成果と課題

ACHIEVEMENT & TASK



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI



地域の中核
世界の人材

お問い合わせ先

山梨大学教育学域支援課

〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37
TEL.055-220-8102 FAX.055-220-8791

教育学部
イメージキャラクター
梨子ちゃん和大福くん

